

大牟田市長 古賀 道雄 殿

団体名

三 川 坑 跡 保 存 要 望 書

平成 24 年 11 月 3 日に、平成 9 年の閉山後初めて、三川坑跡（市内新港町）の一般公開が行われ、市内外より 2,470 名の方が見学に訪れました。

宮原坑跡と万田坑跡は、国の重要文化財及び史跡として指定され、明治時代、産業の黎明期にわが国の近代工業化を支えた、日本の産業革命発祥の地の一つとして評価され、旧三池炭鉱専用鉄道敷、三池港とともに世界遺産候補までになり、高く評価されております。

これと双璧をなすものが三川坑であり、敗戦後の経済復興期に国の政策として優先的に資本投入がなされ、また、昭和 24 年には昭和天皇がご入坑されました。復興期の産業界に多量の石炭を供給し、戦後復興に大きく貢献したのものとして高く評価されるものです。さらには、三池争議や炭じん爆発事故が起きた舞台でもあります。

幸い、現在でも、当時の採炭システムの証左である、繰込場、第一巻揚機室、第二巻揚機室、コンプレッサー室、第二斜坑、風呂場などの貴重な施設・設備が残っております。

このように貴重な近代化産業遺産である三川坑ですが、有明海沿岸道路の整備に伴い、既に一部の施設は解体・撤去されており、このまま、手をつけなければ、老朽化も進み、消滅する恐れすらあります。

三川坑跡は、石炭産業の歴史、大牟田市の歴史を語り継ぐうえでは、次世代に継承すべき施設であり、早急に、保存・整備をする必要があると思います。

そこで、行政が三川坑の保存・活用に向けての取り組みを進められるよう強く要望いたします。

| 氏 名 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

発起人 天領校区まちづくり協議会 会長 大滝 裕久
みなと校区運営協議会 会長 江崎 君子

